



連載コラム 院長室だより 病院長 桑村 智

前回の院長室だよりで、新型コロナウイルス感染症が5類になることで生活は変わるか？と問いかけをしました。これは実際に大きく変わることになりました。2か月経過する中で一番感じるのが、「報道の在り方」です。連日「今日の感染者は何人で・・・」と強制的に数字を刷り込まれていましたが、定点観察の結果が週に1回しか出ないので、この数字に触れることがなくなりました。

これにより一見「身近にコロナウイルスは存在していない」かのように暮らすようになりました。5類になる以前から行動制限は設けない対応でしたので、国民のほとんどは「気兼ねなく行動し」そして「一定数が感染する」生活となったようです。これまで過剰な感染報道に曝され続け、息の詰まるような、身の縮こまるような暮らしからは解放された気がします。我々は医療に携わる職能集団なので、自覚を持って正しい知識できちんと感染対策をすれば良いだけです。

さてもう一つは、この4月から精神保健福祉法が改正となっています。数年前に国会に提出された原案が十分な審議ができないまま廃案となってしまったため、令和4年の国会で再度諮られたのです。改正法案は患者さんの人権に重心が置かれたものとなっており、医療保護入院の取り扱いや退院支援に関する事項、虐待防止に関する事項などが盛り込まれています。令和6年4月より施行される虐待防止に関しては、精神科病院で虐待行為が行われているとの報道が後を絶たないという状況であり、当院としても最重要課題として取り組んでいきます。「病める人に優しく寄り添う」という財団のモットーを再確認し日々の業務に向き合っていきます。

表紙写真 写真タイトル：「新緑の黒沢の滝」

撮影者：樋口 孝

当院から、横に流れている黒沢川の上流へ、5kmほど山に入っていくと、雄大な滝があります。春夏秋冬と色々な風景にお目にかかる事が出来ます。

お花見



今年は例年よりも早い桜の見ごろの時期となり、4月の第1週目に病棟毎にお花見の散歩を行いました。病院の駐車場を囲むように桜が咲いており、桜を見て「綺麗ですね」「満開だね」「外は気持ちいいね」という感想が聞かれました。普段とは違ういきいきとした笑顔でお話しされる患者さんもたくさんいらっしゃいました。コロナウイルスの影響もあり、なかなか外出する機会も減っていますが病院から出て外の空気を触れることが患者さんにとっていい刺激となっているように感じています。

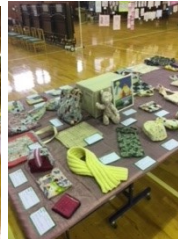
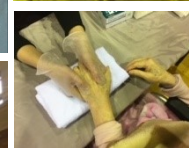


また、お花見にちなんだレクとして“カラオケ大会”を行った病棟もありました。その日のために歌を練習して披露してくださる患者さん、楽しそうに他の人の歌う姿を見ている患者さん、皆さんそれぞれにカラオケ大会を楽しまれている様子でした。



文化祭

4月26日、27日に病院行事として文化祭が病棟毎に行われました。文化祭では、作業療法の時間に作っている作品の展示、作業療法士によるハンドマッサージコーナー、全病棟で協力して作ったこいのぼりの展示を行いました。作品は何ヶ月もかけて作成した力作が多く、患者さんは自分の作品以外にもじっくりと見て回っている様子でした。「みんなすごいね、器用だね」「皆さんの作った作品をたくさん見れてよかった」等の感想や、「次までにまた頑張りたい」と意気込みを話してくれる患者さんもいらっしゃいました。ハンドマッサージも「気持ちよかった」「いい匂いだった」と好評でした。患者さんの普段とは違う表情や、様子を見ることが出来た2日間となりました。



回想法

1-1病棟では、週に5回少人数で集まり活動する“サロン”活動を行っています。実施している活動は、塗り絵や裁縫、朗読、体操などです。

その中で今回は回想法について紹介します。回想法は昔の懐かしい写真や道具を見ながら、昔の経験や思い出を語り合う心理療法の一種です。2週間に1度のペースで実施し、4人の患者さんに継続して参加して頂いています。自己紹介や日付の確認を行い、毎回違うテーマについてのエピソードを患者さんに話していただいています。テーマは、昔の遊びや戦争の体験等、昔を振り返る内容となっています。テーマが“昔の遊び”の回では、実際のお手玉や紙風船を手に取り

「懐かしいね」
「楽しいね」と
昔を思い出し、
いきいきとした
様子で話をしてくださっていました。



病棟レクリエーション



2-3病棟では、5月に病棟レクとしてビンゴ大会を行いました。今回は、チーム戦でゲームを行いました。はじめ「ルールが難しくてできるかな」と言っていた患者さんも、ゲームが始まるとすぐにルールを理解された様子で、最後には「難しいと思っていたけれど楽しかったです」という感想が聞かれました。全員が景品を受け取れるように準備をし、チームの全員がビンゴになったところでTシャツ、タオル、靴下、エコバック等から1つ好きなものを選んでいただきました。



チーム戦でゲームを行ったのでビンゴカードを協力して確認する等、患者さん同士の交流のきっかけにもなっていました。

記念日のお食事・イベントのおやつ

入院患者さんに日々の食事を提供している部署が食事療養部ですが、曜日や季節が食事からも感じられるよう、週のメニューや食材が工夫されています。また、療養生活をさらに快適に過ごしていただくために、折々の行事に応じたメニューが組まれています。今回はその行事メニューの一部を写真にてご紹介します。セレクトおやつは病棟ごとに行われており、7月26日には22病棟で行われました。



防火防災訓練



春季、秋季に病院全体で行われる防火防災訓練です。春季は、5月31日、昼間の火災を想定し、患者さんにもご協力いただき全館避難の訓練を行いました。



訓練後は、消火設備の取り扱いに慣れていない新入職員を中心に外での放水訓練も行われま



病院の理念

慢性期の患者さま一人一人の病状・置かれている状況を個別的に考え人格を尊重し、全職員が職種を超えてチームを組んで一体的に治療目標が達成できるように最良のサービスを提供する。

病院の基本方針

1. 地域への貢献
2. 医療安全・サービスの質の向上
3. 職場の環境づくり
4. 医療介護福祉の連携
5. 経営の健全化

精神科療養病棟200床

患者さまの権利

患者さまは、人間として尊重され差別されることなく、公平で良質な医療を受ける権利があります。そのため私達は治療を始める際には、診療についての情報をご本人に説明しご理解いただいた上で患者さまのプライバシーを守り、意思を尊重し継続性のある医療を提供します。

〒399-8103

長野県安曇野市三郷小倉6086-2

TEL 0263-76-5500(代) FAX 0263-76-5501

社会医療法人 城西医療財団

ミサトピア小倉病院

城西医療財団HP www.shironishi.or.jp

編集後記

冷涼な安曇野と言われていたのは今は昔。梅雨明け前にも関わらず外気温は30℃を超え、身の危険を感じるほどです。院内は大規模空調工事を終えて初めての夏を迎えていますが、やはり新しい機器の力は偉大であると感じます。広い建物を平然と冷却しており、患者さまも快適そうです。冷気が届きにくいところにはサーキュレーターで風を運ぶなど工夫し、患者さまの生活環境が保たれています。